

スローガンは「乳量アップ!」 乳質向上!収入アップ!

甲奴郡酪農組合(組合長 伊達薫、組合員二十名)は、平成二十五年年度通常総会を開催し、実出席十四名、委任状出席三名による総会の有効成立のもと、提出議案の全てを可決承認した。

伊達組合長は開会にあたり、行事への協力で謝辞を述べ、「厳しい情勢が平成二十六年も予想されますが、皆さんの協力なくしては行事が出来ませんので宜しくお願ひします」と挨拶された。

続いて、来賓の岩竹重城組合長(広酪)が「組合長に就任して七ヶ月、アベノミクスの円安影響で飼料が高騰し、厳しいことは言うまでもないが、輸入粗飼料の



高い原因は中国との穀物争奪戦が大きな影響である。輸入も難しくなる

予想の中で、新TMRセンターがこの三月に完成となる。安価で良質な飼料を組合員に供給することが組合の使命と考える。今年一年組合員のための組合であることを目標にやって行きたいので宜しくお願ひする」と協力を呼びかけた。

事業計画では、乳量アップを目標としたスローガンを掲げ、広酪と同調した事業を進めることを前提に消費者との交流会、近隣協議会との懇親、環境整備、勉強会などを盛り込んだ。

総会終了後は、今年度の乳質検査において、乳質ペナルティ五回以内の九名に優秀賞、前年度のペナルティ回数が半分以内となった乳質改善賞に四名を表彰し、続いて年始会を行った。家族も集まる中で、鈴木道弘専務(広酪)は乳量増産への意欲と乳質改善に対する取り組みへの感謝を伝え、山陽乳業(株)の吉川俊太郎工場長が県産牛乳で乾杯を行い、NOSAIや広酪の職員も交えて和気藹々と懇親を深めた。

経営の 上達法を伝授!



広酪西部ミルク会(会長 砂子靖子)は、研修会と新年互礼会を開催し、十三名の参加があった。研修会では、大島達夫係長(広酪事業推進課)の「酪農経営の上達法」と題して、「日頃の牛舎内での様々なチェックが大切」、「平均四産次を目指す管理が酪農経営の上達の近道」と伝えた。会員からも自分の失敗談等が紹介され、それぞれの牧場での対応状況等、相互に学び合う意義深い情報交換の場となった。

親睦交流会では、二月十日開催予定の「フラーアレンジメント教室」と、四月二日開催の総会開催等の話題も話し合った。

藤井康浩さんGCおめでとう

世羅郡酪農振興協議会(会長 内海利彦)は年始会を行ない、会員10名の他、広酪から鈴木道弘専務と樽好美子所長(東部事業所)、NOSAI、診療所、世羅町の畜産担当者らが出席した。

挨拶に立った内海会長は「厳しい酪農情勢ではありますが酪農家同士が助け合い、元気で仲良く酪農を続けて行きましょう」と元気を促し、その後、各団体からは連絡事項等を交えた挨拶があった。

この会では、昨年の広島県畜産共進会でグランドチャンピオンに輝いた藤井康浩さんの栄光を祝い、会員相互の意見交換など和やかな宴となった。

あきたかた酪農振興会

1/24 神楽門前湯治村

WCS利用に興味

あきたかた酪農振興会(会長 泉秀利)は、関係団体等二十名が参加して新年会を開催した。これには安芸高田市議会の産業建設委員四名も参加され、行政としても酪農経営のバックアップを行いたい旨が述べられた。

広酪の岩竹重城組合長は、新TMRセンターへの取り組みと「生乳生産が計画よりも大きく下回る状況下にあつて、生乳は酪農家の給料である。生産増に向けて頑張つて欲しい」と期待感をもった挨拶があった。同地域では飼料イネ(WCS)に大きな興味を持たれており、今後の協議を深めていくこととされた。



西部楽酪会

1/17 西部事業所

気持ち新たに若者が団結

西部楽酪会(会長 砂子拓也)は新年会を開催し、西部管内の若人八名が参加した。

砂子会長は、「若い力で酪農を牽引していこう」と挨拶し、日頃の作業上の悩み等を会員同士で話し合い、和気あいあいに懇親を深めた。この中で「カウコンフォート」や「繁殖」をテーマとした研修会を求める意見を受け、この開催を検討することとした。

これに併せて、広酪から出席した加藤祐一技師(西部事業所)からは、酪農情勢に加え、新TMR組合員説明会と三月の分娩管理をテーマとした「酪農セミナー」への積極的参加をお願いした。



庄原地域酪農振興会

1/23 比婆観光

厳しい！更なる乳価値上げを求む

庄原地域酪農振興会(会長 林 智行)は新年会を開催し、広酪から岩竹重城組合長、鈴木道弘専務、中山篤志事業推進課長、名越道弘技師の4名が参加し、会員らと意見交換を行った。

林会長は、昨年の飲用向け乳価5円の値上げについて、「乳価は上がったが、飼料や燃料の高騰影響を受け酪農経営は依然として改善されておらず、厳しい状況が続いている。今年10月以降の更なる値上げを求めていきたい」と力強く話した。

岩竹組合長からは、「新TMRセンターの稼働に向けて、安価で良質なTMR飼料を製造供給したい。乳量減少には分娩前後の飼養管理を見直す必要がある。自分達から出来ることをやっていきましょう」と訴え、来る3月7日開催予定の『酪農セミナー』への参加を呼びかけた。



デイリイマン「3月号」取材受ける 花見会4月17日開宴

ひろしまの酪農を担う若い世代の女性同士が交流できる場として発足した「ときめき隊」は、デイリイマン社の取材依頼を受け、小川香奈さん、西原美和さん、山延伊久江さん、市川美智子さんがこの取材に応じられた。

取材では発足のきっかけや活動内容に触れられた(デイリイマン3月号に掲載予定)。その他、第2回目の行事打ち合わせを行い、次のとおり花見会を企画した。県内の若き酪農女性の皆さん、ぜひご参加ください。

一緒に「ときめき」の時間を過ごしませんか!
ときめき隊「お花見会」

- 開催日 : 平成26年4月17日(木)正午から午後3時
- 開催場所 : 広酪本所会議室
- テーマ : 春☆花☆ときめく♪の巻き一花より団子—
- 準備物 : 会費1千円、筆記用具、おやつ用コップ・フォーク・皿
- 服装 : お花見気分を演出したいのでピンク又は赤系の服装でお越し下さい。
- 内容 : 「酪農家あたりまえ体操を作っちゃいましょう(^_^)」
- 問い合わせ先 : 小川香奈さん(電話・FAX 0847-62-4369)
事務局(事業推進課 藏崎)



市川さん 小川さん 山延さん 西原さん

楽しく！明るく！この一年を

三原市酪農振興会(会長 新舎和久)は親睦を目的とした年始会を行い、15名が参加した。新舎会長は「昨年に引き続き大変厳しい酪農情勢ではありますが、当協議会は楽しく、明るく行きたいと思います。今年一年が良い年になりますよう皆さん宜しく願いします」と会員らに前向きな姿勢の挨拶が述べられた。

広酪から出席した鈴木道弘専務(広酪)は「当協議会に初めて参加した。平成25年度生乳生産量の実績見込みは53,000トンと目標未達が予測される。廃業農家もありやむを得ないとも思うが、皆さんもリタイヤしないで頑張ってください」と激励し、乾杯の発声を行った。参加者の笑い声一杯で頑張る意欲を湧かせる年始会となった。

「元気が出る」「参加しやすい」女性部活動を

甲奴郡酪農女性部(部長 溝辺博子)は、恒例の年始会を行い、14名が参加した。溝辺会長は挨拶で「厳しい中ではありますが、誰もがみんな足腰が痛いところです。年を重ねていくに連れて更に今年も良い年にしましょう」と述べられた。

続いて、乾杯発声では和服姿の松本美喜枝さんが「健康で楽しく今年も一年仲良く頑張っていきましょう。皆さんの健康に乾杯!!」と懇親を深めた。

出席した樽好美子所長(東部事業所)は、3月18日のひろらく女性グループ連絡協議会の交流会、3月23日の広酪B&Wショウの女性部の協力等の要請を行い、年々廃業と年齢を追う毎に行事への参加者が減少する中で、今後も「参加して元気が出る会」、「参加しやすい女性部活動」を心がけてがんばろうと締めくくった。